

# 第五小だより

生き生き学び、楽しいのびのび活動する、元気な学校

令和4年 2月号

朝霞市立朝霞第五小学校

朝霞市泉水3-16-1

048-462-0455



## 地道に続けること

校長 三好正浩

大寒も過ぎ、朝晩はもちろんのこと、日中も冷え込みの厳しい日が続いております。まもなく立春を迎え、暦の上では春になりますが、陽気のよい春めいた季節はまだ先のようにです。

さて、6年生の子供達は、総合的な学習の時間に、自分の将来就きたい職業について調べ、夢を実現するために、今の自分は何をしなければならないのかなど学びました。全員の子供達が自分の夢を持ち続け、叶えてくれたらと思います。そんなとき、イチロー選手の話の思い出しました。それは、かつてオリックスで打撃投手を務め、現在少年野球チームの監督をしている奥村孝治さんが、オリックス時代のある時、イチロー選手に「いままでに、これだけはやったな、と言える練習はある？」とたずねたそうです。イチロー選手は、「僕は高校生活の3年間、1日たった10分ですが、寝る前に必ず素振りをしました。その10分の素振りを1年365日、3年間続けました。これが誰よりもやった練習です。」と答えたそうです。

奥村氏は、少年達を教えていて「野球の上手な子にアドバイスをすると何をやってもすぐにはできるようになります。下手な子はなかなか思うようにいきません。ところが、できるようになった上手な子が、いつの間にか練習をやめてしまうのに対して、下手な子は粘り強くその練習を続け、いつかはできるようになります。そして、継続することの大切さを知っている彼らは、できるようになった後もなお練習を続けるので、結局上手な子よりも力をつけることが多い。イチロー選手は、卓越したセンスがありながらも、野球の下手な子と同じ心を持ち、ひたすらに継続を続ける。そこが、イチロー選手の最大の力の源になっている。」と分析されています。

一つのことを地道に続けることが、その道を究める事になります。自分で目標を持ち、それに向かって継続を怠らなければ、必ず次の段階へと自分を追い上げていくことができます。そして、将来を生き抜く力にもつながっていきます。継続することの素晴らしさ、ルーティンがいかに大事かということを経験を通して、子供達に伝えていきたいと考えています。